

課題名：移乗支援機能を有する多機能介護ベッド「マルチ支援ベッド」の開発

代表機関／代表者：フランスベッド株式会社／石橋 俊一

研究期間：令和7年10月～令和10年3月

研究開発目的

高齢化に伴い、介護現場における人材不足が深刻化している。特に、移乗介助などの身体的負担が大きい作業は離職要因の一つとされており、介護従事者の負担軽減と業務効率化は喫緊の課題である。一方、既存の移乗支援機器は高コスト・設置スペース等の理由から十分に普及していない現状がある。本研究開発では、これらの課題を解決するために、既存の介護ベッドに横傾斜機能を新たに付与し、移乗介助を容易にする新構造ベッドの開発を目的とする。

取り組み

- 既存のベッドに横傾斜機能が付いたベッドの開発。
- 横傾斜機能を活用した移乗による介護者の負担軽減効果の実証検証。
- 被介護者の心理的安全性や満足度の評価。
- ワンタッチ操作が可能なシンプルなインターフェースの実装。

期待される成果

- 従来2人で行っていた移乗介助を、1人で安全かつ確実な実施を可能にする。
- 「リフト」+「通常ベッド」の導入よりも総合的なコストの削減をする。
- 複雑な操作をなくし、機器の使用率の向上を図る。
- 既存介護ベッドと同等の設置スペースでの機能実装を行う。

横傾斜を用いた移乗のイメージ図



機器の想定する動作

